

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 P.P.P. プラットフォーム！児島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2 職員の配置数は適切である	3	1		基準以上の配置はしていますが活動内容や時間帯等により足りないと感じることがあります。時間に余裕をもって活動できるように工夫していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	一人一人に合わせたカード提示をおこなっている。 玩具棚にお片付けがしやすいように写真で示すようにしている。 活動によって場所を変えている。	玩具棚の写真の変更等タイムリーに行うことが出来ていない事があるので、随時変更できるように準日していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	便器の黒ずみ等洗浄剤を使用している。	一般家庭用（大人用）の備品もありますので、お子様でも使用できるように工夫しています。使いにくい場合、随時、改善していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	情報共有や会議を可能な限り行うようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	連絡帳や懇談で共有を行っている	毎年事業所評価を実施しています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		会議で共有・議論している	毎年事業所評価を実施し、法人ホームページ、倉敷市ゆめばるホームページ、事業所玄関に掲示しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価は現在うけていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		機会はあるが、参加できていない研修もあります。職員全体に共有できていない研修等があるため、誰でも参加できるように共有していきます。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2		研修参加等、アセスメント力を高めて支援につなげたいと思います。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児発管や他の職員と話し合い設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		都度確認しながらおこなっている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	月担当の職員が中心におこなっている。	担当が中心になりながら定期的な会議の場を利用して、複数の職員で検討していきたいと思っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5				

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	4	指導案を作成し、共有できるようにしている。 業務予定で役割を明確にしている。	朝一番は送迎等により難しい日があるので、基本的には、予定・計画を書面で共有できるようにしています。前日の支援終了後等も利用しながら行っていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	引継ぎノートにて共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	児発管に相談し判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		相談支援により担当職員が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1		保育園と連絡帳の共有や等で連携をするようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		地域の保育園に在籍しながらのご利用の児が主なので、現在は特別には企画しておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	自立支援協議会発信の研修や連携会に児発管が参加し共有している。	継続して参加をしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		企画はしていましたが参加者が少なかったため、実施方法の検討をおこなっていきます。
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		連絡帳や電話にておこなっている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	親子遠足で保護者同士でも交流できるようグループ活動をおこなった。	定期的に茶話会等保護者同士で話をする機会等検討していきたく思います。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	継続して、年度代わりにプロフォル表にて確認を行っていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		現在医師の指示書のあるお子さんは利用されていません。契約時等に事前に確認させていただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		毎月人権会議に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		保護者に了解を得ている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月15日

事業所名P.P.P.プラットフォーム！児島

保護者等数(児童数)

27 回収数

20 割合74 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			見る機会がない 見学で活動場所を見ることが出来、スペースに不足なく活動出来ているようにみえた。	活動によりスペースを使い分けています。見学のご希望がありましたら、お声掛けください。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1			見る機会がない。 1日何人に対して何人の職員がいるのかわからない。 様々な悩み等にも専門的な視点から応えてくれていて子どもの対応にも不足を感じない人数だと思う。	配置数は基準に加えて職員の配置を行っています。
	3 <u>生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1</u> になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16				〇〇のお部屋で〇〇するんですよと子どもが教えてくれる。 絵や写真で分かりやすくしてあると思う。 1度見学に行った時に中をちょっとみただけで全然わからない。 見学の際に見ることができた。	部屋とやることが分かりやすい環境にしています。お気軽にお声掛けください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18				きれいに整頓してあった。 1度見学に行った時に中をちょっとみただけで全然わからない	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	18				相談員と自宅で細かく話しながら決めている 親の意見や困りごとなどしっかり聞いてプランに組み込んでくれた。 2 子どもの苦手なことだけでなく好きなことも活動に取り入れてくれている。 ニーズを確認してくれて共有したうえで目標設定や計画を作成されている。	ご家族や関係機関等からの情報をその都度、聞き取りながら作成していきます。今後も継続していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17				私が求めていることに関して作ってもらっているので選択されているだろうと思う。 設定されている。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1			連絡帳でその日にやった事等細かく書いてくれているが支援計画に沿っているのかはよくわからない。 毎回の連絡ノートから支援が行われていると感じる。	懇談等にて、保護者の要望等を確認しながら支援しています。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	19				色々させてくれている 子どもの苦手なことだけでなく好きなことも活動に取り入れてくれている。 毎週、様々なプログラムを計画してくれている。	今後も職員間で話し合いながら工夫していきます

	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1		9	幼稚園の先生には連絡しているが、子どもとの活動は分らない。 送迎の時など保育園との交流がある。	現在事業所の活動として交流の場は持てていません。	
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1			初めての時に詳しく説明があった。 利用の契約時に説明された。		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	18	1		1	説明があった。		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	12	5			3	チラシなど案内はよくあるが参加したことはない。 連絡帳に書いて相談したことには対処法等教えてくれる。 プログラムを計画してくれて定期的に行われている。	今後も定期的に企画していきたいと思います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2				日々の連絡ノートでできている。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1				日々の連絡ノートや電話等でできている。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	4	1		2	昨年は遠足で他の保護者とも話す機会があったが今年は参加できずなかった。 イベントや勉強会があった。	今後も企画していきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19				1	対応されている。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1				メモや電話などでよく連絡してくれる。 主に連絡ノートでしている。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	1			3	とても分かりやすく発信されている。	活動予定や内容は各お便り等で発信しており、自己評価は法人ホームページ及びゆめばるホームページに掲載しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19			1	契約時に説明もあり注意されている。		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	1	1	5	実施されている。マニュアルもあると説明があった。	事業所としては火災・自身・水害等想定して訓練を実施しています。ご利用の曜日や時間によりお客様自身の参加の機会はない場合があります。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12		1	7	避難訓練など実施していることはおたよりなどでわかる		

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4		PPP行きて一なーと言っている嫌がる人が多いが行くと楽しそう 自分だけなぜいかないといけないのか不満そう。 活動はとても楽しそう。 とても楽しみにしている。	楽しみをもって通所していただけるように考えていきたいと思いません。
	23	事業所の支援に満足しているか	18	1	1	子どもの言動が少しずつ良い方向にいつているような気がします。 満足している。	お気づきの点等あればお気軽にご相談ください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月15日

事業所名P.P.P.プラットフォーム! 児島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	人数により2部屋に分かれたり広い空間を使用したりしている。	小学生にとっては狭い部屋がありトラブルにつながるので、遊びに合わせて部屋を分けさせていただいたりします。わかりやすくお伝えできるようにしていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	子供の人数や活動によるところがあるが基準以上の配置をおこなっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		会議等で話し合い、改善に努めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		現在、第三者評価はおこなっていません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		研修の参加の機会を設けていきたいとおもいます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	ご本人との面談、ご家族との懇談をもとに、担当者や児島管中心に計画をしています。	より複数の職員で協議できるようにしていきたいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	放デイ担当者と児島管で決めて他職員に共有している。	継続して会議等で話しあっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	土曜日利用のため、変わらず活動している。長期休暇時はイベントを企画している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	その日の流れの共有を事前に配布	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	集まって終りはできていないが、気になったことや良かったことは共有できている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		相談支援担当者によるところがある。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/	医療ケア児の対象者はおられません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	ご家族や、相談員さんからも情報をしっかり得るようにしています。	利用されていた事業所等によりますが、必要時に応じて連携を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		中学校へ情報共有行っている。相談支援を通じておこなっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		事業所行事の際に、地域の小学生と一緒にゲームをする企画をしたりしていますが、交流までに至っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	連絡会等に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		受入れ送出し時に話す時間をもっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	4	1		企画をおこなったが参加者が少なかったので、今後も検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		メモに書いてやりとりしたり、電話でお伝えしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	一斉避難の訓練ではなく、災害について学び実践する機会を設けています。	成人事業所と合同で計画していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15 日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！児島

保護者等数(児童数)19 回収数 12 割合 63 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			1	配置数は基準に加えて職員の配置をおこなっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		4	完全なバリアフリーではありませんが、事前の見学の際に利用に関しての心配事はお聞きするようにしています。見学等のご希望がありましたらお声掛けください。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			今後も職員間で話し合いながら工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2		4	事業所の活動としては現在行っていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5		5	保護者の研修の機会を設けましたが今年度は希望者がおられませんでした。次年度も企画していきたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		3	なんでも相談について、気軽に利用していただけるようにお知らせしていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		1	事業所評価について、法人ホームページ、倉敷市ゆめばるホームページ、事業所玄関に掲示しております。そのほか、予定等はお便りでお知らせしています。
14 個人情報に十分注意しているか	11	1				
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1		2	

等 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	8	1	3	お子様向けには集団療育の中で災害にちなん だゲーム等を実施しています。事業所として は、平日に避難訓練をおこなっております。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2		行く前は日によるが、帰ってくると「最高に楽し かった」と毎回言う
	18	事業所の支援に満足しているか	12			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。